

「チェアリング」というのは、2016年に提唱された「和製英語」の一つです。あえて綴れば"chairing"ですが、英語では「議長をする」という意味だそうです。日本の「チェアリング」に厳密な定義はありませんが、「折り畳みの椅子を、一人一脚持ち歩いて、好きな場所に座って、気ままに過ごす」といった行為です。飲食を伴うのが本来の意味のようです。

最近「チェアリング」が、私の新しい趣味になりました。自宅にあった古いキャンプ用の折り畳み椅子に、使っていなかった軽量のリュックを結いつけて、肩にかけて持ち運べるようにしました。好んで出かけるのは、小石川植物園です。電車もバスも使わずに行けるし、いろいろな景観が揃っているのでお気に入りなのです。しかも私は後援会会員なので、いつでも無料で入園できます。小石川植物園には後援会が設置したベンチが増えましたが、週末は大抵「満席」です。しかし自分の椅子持参なので、着席保障付きというわけです。

リュックに入っているのは、若干の飲み物とお菓子、それに何冊かの楽譜です。もともと私は楽譜（主にオーケストラの総譜）を読むのが趣味なので、チェアリングと合わせられないかと思ったのです。文京区の都会とはいえ、森の中の好きな場所に座って、自然の音を聞きながら楽譜を読むのは、実に良い趣味を見つけたなと思っています。

(2023年11月中旬／文京区小石川植物園／楽譜はプロコフィエフ第5番)

